

平成25年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会

最終日:平成25年5月26日(日)

会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム

男子の部

<審判>

5位決定戦 岐阜総合 70 $\left[\begin{array}{l} 23 - 10 \\ 20 - 8 \\ 19 - 10 \\ 8 - 26 \end{array} \right]$ 54 斐太 棚橋英一・佐伯和哉

決勝リーグ 岐阜農林 (2勝) 61 $\left[\begin{array}{l} 11 - 13 \\ 12 - 14 \\ 27 - 13 \\ 11 - 6 \end{array} \right]$ 46 富田 (2敗) 大豆村斉・篠田義貴

岐阜農林1勝、富田1敗で迎えた決勝リーグの2戦目。両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。第1ピリオド立ち上がり、岐阜農林⑦水口のジャンプシュートが決まるが、その後お互いにシュートが決まらないままゲームが進む。富田⑬山田、⑩大滝、岐阜農林⑥寺内がシュートを決め、開始5分で5-5の同点。結局両チームロスコアのまま、富田が13-11とリードする。

第2ピリオド、お互いにミスが続きロスコアの展開が続く。両チームともメンバーを代えながら流れをつかもうとするが、一進一退の攻防が続く。残2分から、富田⑩大滝が3連続でシュートを決め、富田が27-23と4点リードして前半を折り返す。

第3ピリオド、岐阜農林は⑧福永の1対1と、⑫酒井の3点シュートで逆転すると、その後も、⑤田中のルーズボールやリバウンドの粘りからチャンスをつくり、④吉田、⑫酒井、⑩松岡の1対1、⑬野原の3点シュートでリードを広げる。富田も⑱津谷、⑦元井がシュートを決め、必死に食らいつこうとするが、互いに点の取り合いとなり点差は縮まらない。岐阜農林が50-40と10点をリードして最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、岐阜農林は⑧福永のゴール下シュートと④吉田、⑫酒井の3点シュートでリードを守り、その後も落ち着いてパスを回して勝ちを確実なものとした。最後は岐阜農林が61-46で勝ち、決勝リーグ2勝目をあげた。富田も⑫唐田の1対1と⑦元井の3点シュートで必死に追い上げ、メンバーを代えながら果敢にゴールを狙うが、追い上げきれなかった。(中田真由美)

決勝リーグ 美濃加茂 (2勝) 95 $\left[\begin{array}{l} 29 - 20 \\ 28 - 16 \\ 17 - 16 \\ 21 - 15 \end{array} \right]$ 67 大垣養老 (2敗) 宮崎泰彦・野々村日希

両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり美濃加茂は⑦堂藤、⑥武藤のインサイドシュートで得点すると、大垣養老は⑦松岡、⑤木全、⑥鍵弥の3点シュートで応戦する。両チームとも早いゲームの展開で次々に得点し、第1ピリオドは29-20と美濃加茂リードで終了。

第2ピリオド、美濃加茂は動きのよいディフェンスから速攻に走り、⑮沼田、⑬真鍋がジャンプシュートを次々と決め次第にリードを広げる。大垣養老は⑦松岡の1対1を中心に攻めようとするが相手のディフェンスに苦しみ、なかなかシュートが決まらない。前半は57-36で美濃加茂がリードして終了。

第3ピリオド、美濃加茂はオールコートマンツーマンで頑張り、⑬真鍋、⑮沼田、⑫瀬瀬が次々にシュートを決め、試合の主導権を譲らない。大垣養老は、ゾーンディフェンスに変え、④木村のゴール下シュート、⑦松岡のドライブなどで何とか食らいつき、このピリオドは互角の展開でゲームが進む。

第4ピリオド、美濃加茂はチームの勢いを持続し、ベンチメンバー全員が出場し、⑭安藤、⑪堀江、⑱内藤がシュートを決める。大垣養老は1-2-2ゾーンプレスに変え、攻めては⑦松岡、⑥鍵弥がシュートを決めるが、追い上げきれなかった。最後は速さとディフェンス力で優る美濃加茂が95-67で勝ち、決勝リーグ2勝目をあげた。(林紗規子)

決勝リーグ	美濃加茂 (3勝)	64	$\begin{bmatrix} 13 & - & 16 \\ 14 & - & 9 \\ 16 & - & 10 \\ 21 & - & 20 \end{bmatrix}$	55	岐阜農林 (2勝1敗)	相宮俊郎・名越龍男
-------	--------------	----	---	----	----------------	-----------

全国高校総体出場をかけた決勝リーグ最終戦。両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり、美濃加茂⑤坂之下が3点シュートで先制、高さを生かして⑦堂藤、⑥武藤のゴール下シュートで得点する。対する岐阜農林も⑤田中のミドルシュート、速さを生かした④吉田のミドルシュートで得点し、一進一退の攻防が繰り広げられる。第1ピリオドは16-13で岐阜農林が3点リードで終了。

第2ピリオドに入ると、美濃加茂は⑥武藤がゴール下で粘って得点すると、⑩山田のドライブ、⑫瀬戸の速い攻めで逆転に成功する。岐阜農林も⑤田中、⑬野原のシュートで反撃する。互いに激しいディフェンスで競い合う。前半を終わり、美濃加茂が27-25と2点リードして終了する。

第3ピリオド、高さで勝る美濃加茂はディフェンスリバウンドからの速攻で⑧海津、④木村が得点し勢いに乗る。岐阜農林は⑤田中のドライブ、セットプレーで④吉田が得点をあげ、喰らいつこうとする。第3ピリオドが終わり、美濃加茂が43-35とリードを広げる。

第4ピリオド、美濃加茂は勢いに乗り、⑮沼田、⑥武藤、⑦堂藤がゴール下で執念のシュートを決め、リードを守り切る。最後まで集中力を切らさず攻め抜いた美濃加茂が64-55で勝って優勝を決め、全国高校総体の出場を決めた。岐阜農林はオールコートマンツーマンに変え、必死にボールを追ったが、思うようにシュートが決まらず再逆転はならなかった。(林紗規子)

決勝リーグ	富田 (1勝2敗)	89	$\begin{bmatrix} 24 & - & 11 \\ 17 & - & 16 \\ 27 & - & 18 \\ 21 & - & 20 \end{bmatrix}$	65	大垣養老 (3敗)	松野瑞穂・川上亮輔
-------	--------------	----	--	----	--------------	-----------

第1ピリオド、互いにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。富田は⑬山田のドライブ、⑩大滝のインサイドを中心に早い展開でリズムよく得点していく。対する大垣養老は⑦松岡の3点シュートや⑨長谷のミドルシュートで対抗するが、思うようにシュートまで持ち込めない。第1ピリオドは24-11で富田がリードする。

第2ピリオド、富田は⑩大滝、⑫唐田のインサイドや④真鍋のリバウンドシュートで加点する。大垣養老はディフェンスを1-2-2ゾーンプレスから3-2ゾーンに変え、⑦松岡の3点シュート、⑥鍵弥のミドルシュート、④木村のゴール下シュートを決め、互角の展開に持ち込む。前半を終わり、41-27で富田がリードを保つ。

第3ピリオド、⑩大滝のゴール下やリバウンドシュート、⑤桑原のドライブで加点する。さらに、⑩大滝、⑬山田、④真鍋の速攻が決まり、リードを広げていく。大垣養老も⑦松岡、⑥鍵弥の3点シュートで追い上げるが、相手の速い展開のオフェンスを止めることができない。

第4ピリオド、富田は⑤桑原の3点シュートや⑦元井のミドルシュートで次々に加点していく。最後は富田が89-65で勝利し、東海総体の出場権を勝ち取った。大垣養老は⑨長谷のミドルシュート、④木村、⑦松岡のドライブ、⑥鍵弥の速攻と最後まであきらめることなく攻め続けたが、追いつくことはできなかった。(吉福 司)

女子の部

<審判>

5位決定戦	土岐商	79	$\begin{bmatrix} 15 & - & 13 \\ 25 & - & 18 \\ 21 & - & 13 \\ 18 & - & 18 \end{bmatrix}$	62	岐阜農林	神山元秀・古田 怜
-------	-----	----	--	----	------	-----------

決勝リーグ	岐阜女子 (2勝)	110	$\begin{bmatrix} 21 & - & 14 \\ 26 & - & 9 \\ 28 & - & 6 \\ 35 & - & 2 \end{bmatrix}$	31	岐阜総合 (2敗)	鈴木雅雄・加藤 文
-------	--------------	-----	---	----	--------------	-----------

両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。岐阜女子はドライブからのアシストで⑧谷④鐘ヶ江らが得点を重ねる。対する岐阜総合は、岐阜女子の固いフェンスに阻まれ、楽にシュートを打たせてもらえない。しかし⑤大野綾⑥後藤が3点シュートを決め追い上げを図る。第1ピリオドは岐阜女子が7点リードで終える。

第2ピリオド、岐阜女子がオフェンスリバウンドを制し、⑦大橋⑤坂田がシュートを決め着実にリードを広げる。さらにパスカットやディフェンスリバウンドから、⑥中村の速攻が決まりリードを確実なものにする。岐阜総合はインサイドで攻めることができず、⑧木島⑤大野綾の3点シュートが決まるものの、単発的な攻撃に終わる。前半を終えて岐阜女子が47-23で前半を折り返す。

第3ピリオド、岐阜女子は⑤坂田のアシストから⑥中村のシュートなどでリードを広げる。岐阜総合は⑥後藤のポストからのシュートで応戦するも、相手の堅守に思うようにオフェンスができず、得点が伸びない。

第4ピリオド、岐阜女子は開始早々ターンオーバーやディフェンスリバウンドから速攻で加点を続ける。岐阜総合はアウトサイドシュートでの得点を狙うが、相手ディフェンスの強いプレッシャーにより、なかなかシュートまで持ち込めない。最後は伝統のディフェンス力と速攻を発揮した岐阜女子が110-31で勝ち、決勝リーグ2勝目をあげた。(林紗規子)

決勝リーグ	県岐阜商 (1勝1敗)	71	$\begin{bmatrix} 17 & - & 17 \\ 24 & - & 16 \\ 17 & - & 12 \\ 13 & - & 19 \end{bmatrix}$	64	高山西 (1勝1敗)	大江裕之・長屋 貴
-------	----------------	----	--	----	---------------	-----------

両チームともにマンツーマンディフェンスで試合が始まった。お互いに相手の様子をうかがい、落ち着いた立ち上がりとなった。第1ピリオドは、県岐阜商は⑮川島のポストプレー、⑤津谷の3点シュートや速攻で得点する。高山西は、⑦橋爪の連続3点シュートで得点し、一進一退の展開となる。第1ピリオドは17-17の同点となる。

第2ピリオドは、県岐阜商は2-3ゾーンディフェンスに変えて流れをつかみ、⑭市原がインターセプトからの速攻や3点シュートを決める。高山西は⑨蒲が交代で出てくると、効果的な働きをし、流れを取り戻す。前半は県岐阜商が41-33とリードする。

第3ピリオド、県岐阜商は④塚原、⑤津谷を中心にオフェンスを組み立て、相手の追撃を許さない。高山西は3-2ゾーンディフェンスに切り替え流れをつかみ、④山下のポストプレーや⑧田中のスピード溢れるドライブで得点をあげる。第3ピリオドが終わり、県岐阜商が54-45とリードを保つ。

第4ピリオドに入ると県岐阜商は相手の猛追を受け、一時は3点差まで追い上げられる。しかし、相手のゾーンディフェンスに対して⑤津谷⑦宮田が落ち着いて3点シュートを決める。また⑮川島がリバウンドを頑張り、慌てずプレーして相手を引き離す。最後は県岐阜商が71-64で勝利し、白熱した試合に終止符を打った。高山西は⑧田中の正確なジャンプシュート、⑥根津の速攻で必死の追い上げを見せたが、あと一歩及ばなかった。(田中真紀)

決勝リーグ	岐阜女子 (3勝)	98	$\begin{bmatrix} 29 & - & 14 \\ 15 & - & 11 \\ 27 & - & 16 \\ 27 & - & 10 \end{bmatrix}$	51	高山西 (1勝2敗)	菅野恵美子・津田健介
-------	--------------	----	--	----	---------------	------------

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。岐阜女子は⑮原がインサイドで11得点、⑥中村が速攻や2本の3点シュートで10得点をあげる活躍を見せ、第1ピリオドで15点のリードを奪う。高山西は④山下のドライブで応戦するが、岐阜女子の固い守りに阻まれ得点が続かない。

第2ピリオド序盤、岐阜女子は相手のゾーンディフェンスを攻めめぐみ、思うように得点が伸びない。しかし、相手のターンオーバーから速攻が出始め⑧谷、④鐘ヶ江のシュートが決まりだす。高山西は1-2-2のハーフコートゾーン、マンツーマンディフェンスと変えながらよく足を動かして守り、⑥根津、⑪野村円がシュートを決める。前半を終わり、岐阜女子がリードを広げ、44-25とリードする。

第3ピリオド、岐阜女子は高さを生かして、インサイドで⑦大橋⑧谷が次々とシュートを決め点差を広げていく。高山西はディフェンスを工夫して相手のミスを誘おうとするが、落ち着いてパスをさばかれ、反撃の糸口がつかめない。

第4ピリオド、岐阜女子はディフェンスの足を緩めず、厳しいディフェンスから速攻に走り、④鐘ヶ江⑤坂田の3点シュート、⑮原のインサイドとバランスよく攻めた。最後は岐阜女子が98-51で決勝リーグを全勝で終え、20年連続22回目の優勝を飾った。高山西も粘り強いディフェンスや思いきりの良いシュートを放ったが、岐阜女子の牙城を崩すことはできなかった。(田中真紀)

決勝リーグ	県岐阜商 (2勝1敗)	68	$\begin{bmatrix} 17 & - & 13 \\ 17 & - & 12 \\ 18 & - & 6 \\ 16 & - & 24 \end{bmatrix}$	55	岐阜総合 (3敗)	角平和優・廣瀬卓哉
-------	----------------	----	---	----	--------------	-----------

両チーム共に、オールコートマンツーマンでスタートする。県岐阜商は⑮川島のバスケットカウント、⑦宮田の3点シュートなどで、立ち上がり3分で10-2とリードを奪う。岐阜総合は、相手ディフェンスを攻めめぐねながらも、⑥後藤、⑦大野のシュートで粘りを見せる。第1ピリオド、県岐阜商が17-13とリードする。

第2ピリオド、県岐阜商は⑩藪下がオフェンスリバウンドから得点、⑤津谷のドライブで点差を広げるが、後半にミスを連発し、得点のペースが落ちる。そこで岐阜総合は⑨米田が1対1などで7連続得点の活躍をみせ、点差を縮める。前半は県岐阜商が34-25とリードして終える。

第3ピリオドに入ると、県岐阜商は⑮川島が10点を挙げる活躍をみせ、52-31と大きくリードする。岐阜総合はインサイドの⑥後藤、⑨米田が共に4ファウルとなってベンチに下がり、攻め手を欠いてこのピリオドわずか6得点に終わる。

第4ピリオド、県岐阜商はオールコートディフェンスの足を最後まで止めず、力強いプレーを見せ、着実に得点を重ねていく。最後は県岐阜商が68-55で決勝リーグ2勝目をあげ、準優勝を勝ち取った。岐阜総合は④片桐が3点シュートやドライブでこのピリオド11得点をあげる活躍をみせ、⑨米田、⑥後藤もシュートを決めて粘りを見せたが、それまでの差を埋めるまでには至らなかった。(高木大志)